

■ディスインフェクター30 0-2750-01

■特長

【本体】

- ◆対薬品グレード素材を使用の為、一般的に使用されているほとんどの消毒剤が使用できる。
- ◆タンク一体式の為、薬液が汚れない（薬液の効力低下がない）
- ◆レバー操作によって流量調整ができるので濃淡の少ない塗布性能を発揮します。

【レバー】

- ◆レバー操作により、自動的な薬液の供給（約5cc/秒）も、好みの量の供給もできます。

【タンク】

- ◆半透明のカートリッジタンクの為、薬液の調合が簡単にでき必要量だけ作れば良いので、余剰液の廃棄が不要となる。
- ◆タンクの液量分（1000cc）の連続作業が出来、モップ/バケツ方式に比べて1/3の作業時間に短縮し人件費の軽減が可能になります。
- ◆使用薬液の量は、従来の1/20から1/60に激減します。
- ◆密閉構造の為、常に新鮮な薬液を供給出来、長時間の保管が可能になります。

【ヘッド】

- ◆底部の4個の穴から、均一滴下します。
- ◆ゴムブレード構造により、床の凹凸に対応し、糸モップより優れた拭き取り効果を発揮します。

【クロス】

- ◆保水性・汚れ吸着性・操作性に優れた製品で、連続作業で最大1000m²使用可能です。
- ◆リントフリー性に富む（糸モップ：本製品=460：1）不織布を採用していますので作業者は安全です。
- ◆糸モップのような作業後の滅菌処理が不要になるので全体の作業時間が短縮されます。

■モップと薬剤塗布器との作業方法の違い

作業	モップ&バケツ方式	ディスインフェクター方式
事前作業	①モップとバケツの準備 ②バケツに消毒液を調合 4～5ℓ/回 ③作業現場への持ち込み 重量 約5kg以上	①本体とディスボクロスの準備 ②タンクに消毒液を調合 必要量（最大0.5ℓ）/1回 ③作業現場への持ち込み 重量 約5kg
消毒作業	①モップをバケツの液に浸す ②モップを適度に絞る ③床を拭き上げる ④カスレてきたら、再度モップをバケツの液に浸し繰り返し作業する。 ①→②→③→①→②→…………… 	①ディスボクロスを床に置き本体に装着 ②レバーを開にして液を浸込ませる ③拭き上げる ④カスレてきたら、レバーを開にして、連続作業する ⑤床の汚れがひどく、ディスボクロスが汚れたら交換する
事後作業	①残っている消毒液を廃棄する ②バケツに消毒液を調合 4～5ℓ/回 ③使用したモップを洗浄・消毒する ④バケツの消毒液を廃棄する ⑤洗浄・消毒したモップ、バケツを用具置場に保管する	①使用したディスボクロスを廃棄する （1日最低1枚） ②タンク内の残液はそのまま、用具置場に保管する （1～2日間可）

■作業時間比較

